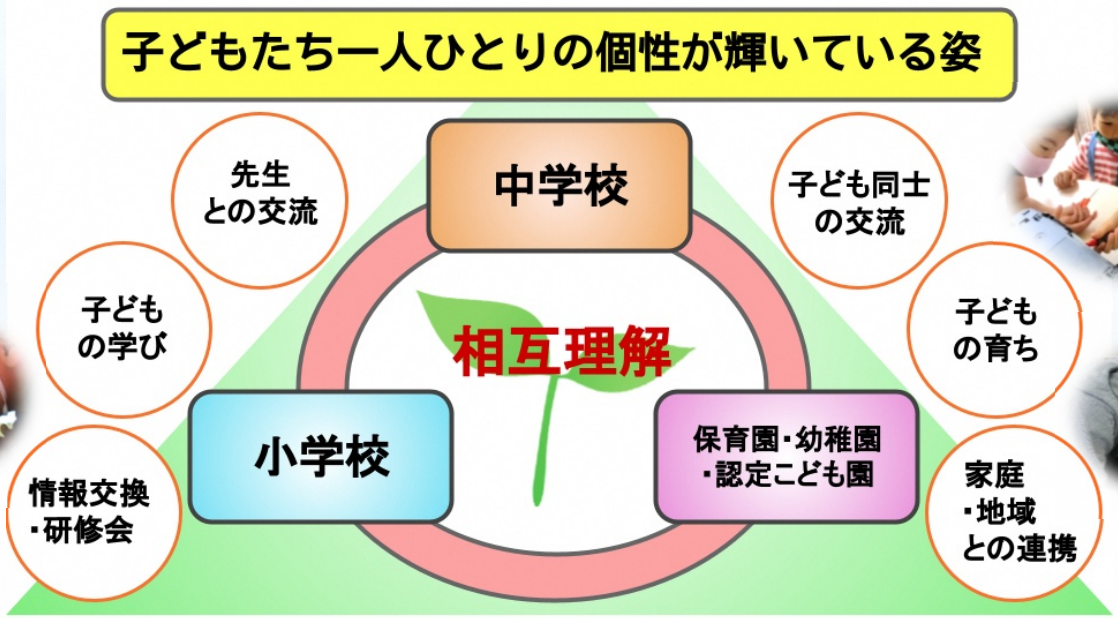
保幼小中連携により

子どもの育ちと学びをつなぐ

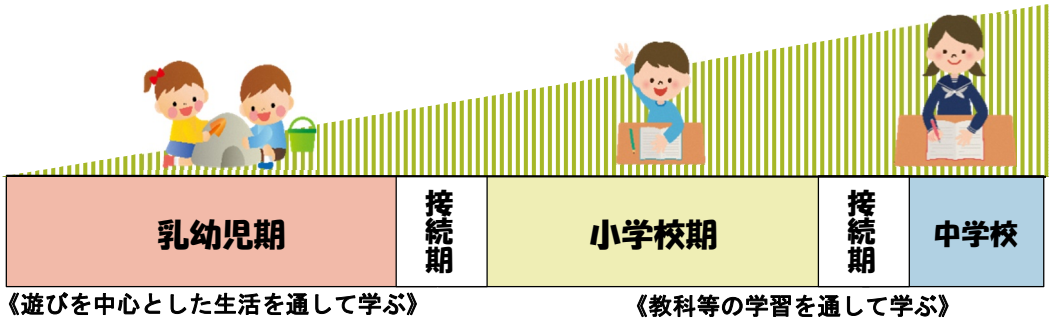
長岡の教育

長岡市教育委員会では、園・小学校・中学校が一体となって、子どもたちの連続した育ちや学びを支援する切れ目のない教育を進めています。家庭・地域・園・学校、それぞれの立場で手をつなぎ、子どもの育ちを支えましょう。



育ちの連続性

子どもの育ちは、乳幼児期の生活や遊びを通した経験の中で育まれる力を土台として、小学校以降の生活や学びの力につながっていきます。子ども一人ひとりの成長や個性を大切にしたかかわりが必要です。



子どもの育ちとかかわりのポイント

信頼関係の築かれた大人の語りかけや受容から「自分は大切な人間だ」と思える「自己肯定感」が育ち、その上に、「人と関わろうとする力」や「自分で生活していこうとする力」、自ら「学ぼうとする力」が築かれていきます。家庭を中心として、子どもを取り巻く社会全体で子どもの心の土台作りを支えていきましょう。

【0～2 歳頃】
「人を信じる心」の土台が築かれる時期

抱っこしたい、眠りたい等の基本的欲求をできる限り受け入れ、スキンシップを大切に、子どもの心に寄り添い、やってみようとする行動を見守る事が大切です。

【3～6歳頃】
自立心の芽生える時期

遊びを通して運動能力、言語能力、社会性等が大きく成長します。また、基本的生活習慣も獲得していきます。五感を使った様々な体験を大切にし、自分でやってみようという心の芽生えを大切にしましょう。

【接続期のかかわりポイント】

子ども同士のトラブルに冷静に対応しましょう。いつでも相談できる学校との関係づくりを心がけましょう。

【1～3年生頃】
社会（友達）とのつながりが深まる時期

善悪の理解や判断ができ、社会のルールを守ろうとする意識が育つ時期です。自分でできるようになった事、生活の中での役割が増えた事を認め、自主性を育みましょう。

【中学1～3年生頃】
自分探しの時期

親に対する思春期、反抗期を迎え、感受性が強くなるなど、「自分」を模索し情緒不安定になりやすい時期でもあります。どんなときも自分は大切な存在である事を伝え、失敗や悩みを乗り越えられるよう見守りましょう。

【4～6年生頃】
他者意識が育つ時期

自分を客観的に捉え自己肯定感がもてるようになる反面他人と比較して劣等感も感じ易くなる時期です。努力している姿や長所を認め、自信につなげましょう。

【接続期のかかわりポイント】

語り合う時間を積極的にもち、友達関係や進路、人生について必要に応じて助言をし、寄り添い、温かく見守りましょう。

参考文献：文部科学省『子どもの発達段階ごとの特徴と重視すべき課題』

＊環境が大きく変わる就学、進学の接続期は不安を感じやすい時期です。人間関係、学習について、生活環境等「こんなことで・・・」と思わず、まずは就学、進学先の学校か、それまで在籍していた園や学校にご相談ください。また、下記の教育委員会の担当課や長岡市内の相談機関（ＱＲコード参照）でも相談を承ります。

《長岡市教育委員会》　〒940－0084　新潟県長岡市幸町２丁目１番１号

学校教育課　TEL 0258-39-2249　E-mail：gakkyo@kome100.ne.jp

保育課　TEL 0258-39-2219　E-mail：hoiku@city.nagaoka.lg.jp

長岡市内の相談機関一覧